★日程（曜日・時限）・講義概要などが変更になる場合があります。
開講時間【第5時限】16：20〜17：50

学部・学科・専修・専攻	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講　義　内　容（※2024年度のシラバス抜粋）	学期	曜日・時限
法学部　法学政治学科	国際政治学1	21世紀の国際社会はグローバルな広がりで相互に浸透しあう現象に直面し、これまでは問題とされなかった分野にまでその関心を広げています。主権国家の相対的な後退と、国家以外のアクターの登場により新しいガバナンスへと変容を見せた一方で、イラク攻撃やウクライナ侵攻などの力による支配が未だ健在であることも示されました。本講義では、国際政治の理論、アクターの性質を学んだ上で、国際政治の争点となっている問題を検討し、国際社会の問題を考える視座を各自が持つことを目的としています。	春	火曜日・5限
法学部　法学政治学科	国際政治学2	第二次世界大戦後のアメリカ外交に焦点を絞り、冷戦期・ポスト冷戦期という主要な区分ごとのテーマと、アメリカ外交における重要な地域という二つの観点からアメリカ外交を分析します。また、近年国際政治で影響力が増大している中国の示す異なる価値との競合と共存という新たな課題についても考えていきます。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文学英語学専修	知へのパスポートａ（英米文学英語学）	３人の教員によるリレー授業で、アメリカ文学、英語学、イギリス文学の３領域についてそれぞれ５回ずつ実施することにより各専門領域への導入とします。	春	月曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	知へのパスポートａ（英米文化） ※受講定員：5名	In this course, students will explore contemporary American society through scenes from American movies such as John Q, Forrest Gump, and Philadelphia. While developing their skills in English through in-class discussion, teamwork, and short writing assignments, students will learn how to tackle such cultural issues as ethnicity, gender roles, and corporate culture.	春	木曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	知へのパスポートa（英米文化） ※受講定員：５名	『ハリー・ポッター』シリーズの分析とディスカッションを通じて、ふたつのことを習得します。まず、このシリーズでキリスト教の教義やそれをめぐる思想がどのように交わり合っているか学びます。それと同時に、小説や映画を批評的に検討して論じる能力を身につけます。この授業では、関大LMSを通じて講義の理解や自習した内容を記録し（学習ログ）、ディスカッションの後には報告し（リアクション・ペーパー）、最終的に『ハリー・ポッター』を分析したエッセイ／小論文を書いてもらいます。	春	木曜日・5限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	知へのパスポートｂ（英米文化） ※受講定員：5名	『ハリー・ポッター』シリーズの分析を通じて、イギリスの宗教をめぐる言説および移民の表象について学ぶと同時に、主に映画を批評的に検討して論じる能力を身につけます。どのトピックも、二つの異なる立場から分析し、論じる練習をします。講義、グループワーク、エッセイという3段階を1つのサイクルにして、1つのトピックを学びます。	秋	木曜日・5限
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	学びの扉（国語国文学）	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。高等学校で学ぶ「現代国語」や「古文」とは違った、国語学（日本語学）研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	学びの扉（国語国文学）	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。高等学校で学ぶ「現代国語」や「古文」とは違った、国語学（日本語学）研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 比較宗教学専修	学びの扉（比較宗教学）	比較宗教学専修の入門講義です。比較宗教学専修とはどのようなところか、比較宗教学専修にはどのような教員がいるか、比較宗教学専修ではどのような研究ができるのか、比較宗教学を知ることで、どのようなことが見えてくるのかなどについて、概説します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 芸術学美術史専修	学びの扉（芸術学美術史）	芸術学美術史専修の入門講義です。芸術学美術史専修は何を学ぶところか、専修所属の各教員はどのような研究を行い、それがどのように授業に反映されているか、専修の先輩は学生時代どのような研究テーマを扱い、社会で活躍しているかなどについて、概説します。	春	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 芸術学美術史専修	学びの扉（芸術学美術史）	芸術学美術史専修の入門講義です。芸術学美術史専修は何を学ぶところか、専修所属の各教員はどのような研究を行い、それがどのように授業に反映されているか、専修の先輩は学生時代どのような研究テーマを扱い、社会で活躍しているかなどについて、概説します。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 ヨーロッパ文化専修	学びの扉（ヨーロッパ文化）	フランスを中心としたロマンス語圏、およびドイツを中心としたゲルマン語圏に軸足を置きながら英語圏の文化も視野に入れてヨーロッパを見ていきます。横文字・アルファベットを操る人たちがどのような文化を築いてきたか、そして現代においてどのような問題を抱えているかをぜひここで探ってみてください。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 ヨーロッパ文化専修	学びの扉（ヨーロッパ文化）	フランスを中心としたロマンス語圏、およびドイツを中心としたゲルマン語圏に軸足を置きながら英語圏の文化も視野に入れてヨーロッパを見ていきます。横文字・アルファベットを操る人たちがどのような文化を築いてきたか、そして現代においてどのような問題を抱えているかをぜひここで探ってみてください。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 日本史・文化遺産学専修	学びの扉（日本史・文化遺産学）	日本史・文化遺産学のエッセンスを知るための入門講義です。日本史学は、考古学が対象とする原始時代からはじまり、昭和・平成を含む近現代までにいたる、ヒトとモノに関わるすべてのことを学びます。文化遺産学は、人類の活動によって生み出された有形・無形の文化的創造物を学ぶもので、とくに日本・沖縄・朝鮮などの文化遺産を中心に学習します。日本史・文化遺産学の概要と専修の紹介や、各専門分野から、ホットな話題を取り上げながら、最新の研究状況について講義します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 世界史専修	学びの扉（世界史） ※受講条件：学内システム掲載のレジュメに事前に目を通すこと	大学で研究されている「世界史」とはどのようなものかについて学ぶとともに、学問としての世界の歴史の興味深さを本講義では伝えていきます。世界の各地域、時代に関し、歴史の学びのありかたについて具体的に話していく中で歴史を研究するとはどのようなことかを受講生の皆さんに伝えていきます。	春	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 世界史専修	学びの扉（世界史） ※受講条件：学内システム掲載のレジュメに事前に目を通すこと	大学で研究されている「世界史」とはどのようなものかについて学ぶとともに、学問としての世界の歴史の興味深さを本講義では伝えていきます。世界の各地域、時代に関し、歴史の学びのありかたについて具体的に話していく中で歴史を研究するとはどのようなことかを受講生の皆さんに伝えていきます。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 教育文化専修	学びの扉（教育文化）	教育文化専修では、乳児から高齢者まであらゆる人に対して、社会のあらゆる場所で行われている教育や人の成長をフィールドワークやデータ分析を行うことで、思想的な背景を探求したり多面的に理解することを追求します。多様な価値観が大切にされる現代社会で行われる教育やその背景にある文化や歴史について学習し、研究する醍醐味を、存分に味わっていただきます。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 初等教育学専修	学びの扉（初等教育学） ・テキスト1冊購入 ・スマートフォン、タブレットPC などインターネットに接続できる機器を持参すること	初等教育学の基礎理論について、学校や地域で生起している具体的な事例と関連づけながら体系的に学修することを通して、学校教育の役割と教職の概要を理解します。	春	火曜日・5限

★日程（曜日・時限）・講義概要などが変更になる場合があります。
開講時間【第5時限】16：20～17：50

学部・学科・専修・専攻	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講　義　内　容（※2024年度のシラバス抜粋）	学期	曜日・時限
文学部 総合人文学科 心理学専修	学びの扉（心理学） ※受講定員：3名	心理学とはどのような学問なのか、心理学の研究はどのように行われているのか、そして、心理学を学ぶことにはどのような意義があるのかを理解するため、専修に所属する教員が専門としている研究の一端を概説していきます。	秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 映像文化専修	学びの扉（映像文化）	映像文化専修で何をどのように学ぶことができるのか、どのような教員によって指導を受けることができるのかなどを具体的に理解してもらうための入門講義です。この講義には３本の柱があります。１番目の柱は、映像の「分析的な見方」の基本的知識を身につけることです。２番目の柱は、皆さんにとって身近なハリウッド映画だけでなく幅広い文化圏に広がる映画を学ぶことです。３番目の柱は、映画にとどまらないより広範な映像メディア全般についての理解を深めることです。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 映像文化専修	学びの扉（映像文化）	映像文化専修で何をどのように学ぶことができるのか、どのような教員によって指導を受けることができるのかなどを具体的に理解してもらうための入門講義です。この講義には３本の柱があります。１番目の柱は、映像の「分析的な見方」の基本的知識を身につけることです。２番目の柱は、皆さんにとって身近なハリウッド映画だけでなく幅広い文化圏に広がる映画を学ぶことです。３番目の柱は、映画にとどまらないより広範な映像メディア全般についての理解を深めることです。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 文化共生学専修	学びの扉（文化共生学）	文化と共生を考えるための入門講義です。扱う地域は主としてヨーロッパと日本ですが、異文化理解、比較文化論、文化接触、共生の問題について、どのようなアプローチをすればよいのかを提示します。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 文化共生学専修	学びの扉（文化共生学）	文化と共生を考えるための入門講義です。扱う地域は主としてヨーロッパと日本ですが、異文化理解、比較文化論、文化接触、共生の問題について、どのようなアプローチをすればよいのかを提示します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉（アジア文化）	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注意していきます。アジアの中でも中国・韓国（朝鮮）・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	春	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉（アジア文化）	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注意していきます。アジアの中でも中国・韓国（朝鮮）・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義（２０世紀から現代社会を考える）	20世紀という時代は、私たちが立っている地面の表層を形成し、現在に直接つながっている諸事象です。本講義では20世紀を理解するための3つのテーマに沿って、知っておくべき知識を確認し、それら諸事象に対して人間がどのように格闘してきたかを論じます。	春	水曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義（文化接触・文化衝突）	文化接触・文化衝突をキーワードとして、さまざまの事象を、さまざまな角度から検討し、総合人文学の方法を考えます。とくに言語・文学・社会のそれぞれを日本と中国、日本と西欧との関係の中で、どのような接触・衝突があって、どのような変化の要因となったかを、いくつかのケーススタディーとして提示することによって、総合人文学という枠組のなかで、どのように位置づけられるかを考えます。	秋	水曜日・5限
文学部 総合人文学科	総合人文基礎講義（ジェンダーで学ぶ総合人文学）	文学部における多様な学びをジェンダーとセクシュアリティの視点からより豊かに、より深く理解し考察するための基本的な概念や枠組み、分析方法や研究対象について学ぶことを目指します。	秋	水曜日・5限
外国語学部 外国語学科	地域文化入門	スタディ・アブロード対象地域の地域文化を含む、世界の様々な地域のことばや文化について理解を深めます。英語圏・中国語圏だけではなく、東アジア、中央アジア、ヨーロッパの各地域文化について、多言語多文化共生時代を見据えた、幅広い知識を提供します。一部の講義は英語で行われます。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	リスク評価法	日常生活におけるさまざまなリスクを評価する考え方や手法を取り扱います。自然災害や事故、薬物など、分野によってリスクの考え方や捉え方は異なりますが、それぞれの考え方を比較しつつ、包括的に学びます。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	地盤災害論	土木工学分野を構成する重要な分野の1つである「地盤力学（土質力学）」の基礎知識について解説し、地盤災害の発生メカニズムからその対策までを考えます。	秋	月曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	製品安全論 ※受講条件：学内システム掲載の資料を事前に確認すること	特に技術面の内容を中心に、安全な製品を開発する上で基礎となる項目について修得することを目的とします。本講義で対象とする「製品」とは工作機械、立体駐車場などの大型のものから家電などの小型のものまで広く含むものとします。	秋	月曜日・5限
システム理工学部 電気電子情報工学科	基礎プログラミング ※受講定員：10名 ※受講条件： ・インターネットに接続したWindowsパソコンが自宅にあり、自宅学習が可能なこと ・WindowsやWordなどの基本的なパソコン操作ができること ・毎回演習を行うため、積極的に演習に取り組む姿勢があること ・欠席すると講義内容についていけなくなることがあるため、原則として全回出席できること	コンピュータをプログラムするための基礎的な概念を学習し、実際のプログラム作成を通してプログラミング技術の習得を行います。携帯用機器からスーパーコンピュータまでカバーし、現在実用的に用いられているさまざまなプログラミング言語の元祖でもあるＣ言語を学習します。	秋	金曜日・5限
化学生命工学部 生命・生物工学科	食品衛生学 ※受講条件：生物基礎を履修している（履修中・履修済）2年生以上の生徒	食品衛生に関わる基本的な事項を解説して基礎的な知識を紹介します。これまでヒトが経験的に使っていた食品衛生に関わる「技術」や過去の「食」にまつわる事故についても解説します。食料の一次生産から流通・加工・調理、さらにヒトが摂取するまでの各過程を科学的に分析し、現状の問題点や将来の食品の安全確保への方法と対策を考える情報を提供します。	秋	月曜日・5限
共通教養科目 （教育推進部）	万博に学ぶ未来社会のデザイン ※受講定員：20名	万博のこれまでの歴史をふり返るのみならず、開催や運営に実際に関わった人々の経験から学び取ることのできる知に触れ、この地域のさらなる発展につながるレガシーを、課題への取り組みを通して構想していきます。	春	金曜日・5限

※共通教養科目とは、社会で活躍するために必要な広い視野と能力を養うために、総合大学のメリットを生かし学部の垣根を越えた学びを体験できる科目です。